

障害に 負けぬ人生 夢五輪

島崎 慎一郎(知的)

税金も 心の中の 助け合い

島崎 慎一郎(知的)

障害も 人を助けて 勇気舞う

島崎 慎一郎(知的)

感謝して 学んだ言葉 ありがとう

恵風(精神)

佳作

やさしさは 誰もがもってる あたたかみ

恵風(精神)

前向きな 力があるよ 笑顔には

恵風(精神)

ふれあって ボケ防止をと 笑い合う

岡部 恵子(視覚)

歩くこと 万物の根源 アルケーだ

石井 洋(精神)

入選

しがらみの 自在の揺れに 道あらず

有泉 政弘(肢体)

※アルケー|| 古代ギリシヤの自然哲学で、世界の原理、始源、根拠などの意を表す語。

さみしさが 本も読みたり 老いゆくも

有泉 政弘（肢体）

寒冷や 穂積の風の 袖子の色

有泉 政弘（肢体）

車いす でこぼこ道と 酔いながら

司馬 ショウタロウ（肢体不自由 脳性麻痺）

人間の ハンディ持った 生きものだ

司馬 ショウタロウ（肢体不自由 脳性麻痺）

心底の 優生思想 消え去れよ

司馬 ショウタロウ（肢体不自由 脳性麻痺）

声かけが 危ない時の ホームドア

矢崎 繁（視覚）

緊急時 その場で自身 身を守れ

矢崎 繁（視覚）

支え愛 介護の支援 増えてゆき

名犬 ポチ（精神）

笑みもらう ケアーの仲間に 感謝する

名犬 ポチ（精神）

佳作

自閉でも お腹がへるし 歌もでる

名犬 ポチ (精神)

多目的ホール いろいろやって 楽しいな

奈良 圭司 (知的)

食事会 何を食べるか 考える

奈良 圭司 (知的)

佳作

寒くなり 家と出るのが たいへんだ

奈良 圭司 (知的)

ひまわりの 明るい笑顔に 希望わく

大柴 洋子 (身体)

秋雨に 肩を寄せ合う 二人づれ

大柴 洋子 (身体)

囲炉裏端 皆が集い 懐かしい

大柴 洋子 (身体)

気が付けば 蛙の音が 鳴り響く

遠藤 優子 (身体)

キラキラと 暑い森中 飛ぶとんぼ

遠藤 優子 (身体)

銀杏を 拾い集めて 比べっこ

遠藤 優子(身体)

佳作

車イス 道のデコボコ すべて知る

片平 徳男(身体)

我が自慢 車イスなら A級かな

片平 徳男(身体)

悪口も 控え目なりや 言語障害

片平 徳男(身体)

川端に 乱舞している 堂かな

安藤 康雄(身体)

月みれば 思い出すのは 里の夜

安藤 康雄(身体)

新米に 秋の味覚で 舌つづみ

安藤 康雄(身体)

銀杏を 食べる時期なり 嬉しけり

新海 亜希江(身体)

コスモスの かれんな花に 秋を知る

新海 亜希江(身体)

入選

盆踊り 夏の一日 楽しめり

新海 亜希江（身体）

杖の音 一步下りて 道譲る

佐野 董（心臓機能）

障害に 添いて不自由 愛求め

佐野 董（心臓機能）

手を上げて 有難うの声 常に持ら

佐野 董（心臓機能）

過去も無し 大統領にも なれぬなり

みずい定（肢体）

選挙では 銃の一字が 禁句なり

みずい定（肢体）

お隣りに ただだまされる 外務省

みずい定（肢体）

失敗を して怒られて ショックだな

マーク（知的）

ノンアルコール どんな味かを 知りたいな

マーク（知的）

入選

お友達 喧嘩するけど いいものだ

マーク（知的）

手をつなぎ 声をかけあい 越える坂

埜村 和美（視覚）

「おはよう」と 笑顔がかわす 白い息

埜村 和美（視覚）

夕立に 傘さしくれる 部活の子

埜村 和美（視覚）

障害に 負けずに生きよう 元氣よく

井上 貴広（身体）

障害を 不便に思わず 生きていく

井上 貴広（身体）

障害を もってみなけりゃ わからない

井上 貴広（身体）

もう一度 興してみたい 妻の乱

中村 洋子（視覚）

あの人 は まるい月まで つれて逝く

中村 洋子（視覚）

白い杖 温スグいて声の 中ナカにいる

中村 洋子（視覚）

家族愛 あっアていじめに 耐タえられた

井口 貞子（視覚）

母のむら 受ウけてきたから 今イマがある

井口 貞子（視覚）

入選

白杖よ 花と作句の 八十路坂

井口 貞子（視覚）

妻手引き 支サえられての 人生愛

穂阪 和宏（視覚）

行く先で 声コエをかけられ 足弾み

穂阪 和宏（視覚）

北風を 小僧と思えば 寒サムくない

穂阪 和宏（視覚）

パニックるが 皆みなの心 支サえるよ

廣瀬 昭美（精神）

スタッフの 笑顔に心 温ユまる

廣瀬 昭美（精神）

「支えるよ」 あなたの言葉に 胸を打つ
廣瀬 昭美（精神）

どれぐらい 自分が好きか 自撮り棒
中曾根 暁美（精神）

自宅にて 思いを交わす ICT
和久（身体）

入選

ICT|インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー

道端の 枯葉で止まる 車いす
和久（身体）

病床上 あくびを一つ 老いた父
和久（身体）

こつこつと 日々のリハビリ 頑張るぞ
中込 千恵（肢体・体幹）

なつメロの 声高らかに デイの風呂
石井 敏子（肢体）

初夢の 中で語る 二人かな
石井 敏子（肢体）

都会より 田舎はのどき 日暮かな
石井 敏子（肢体）

デイサービス 知らぬ同士が 友ともになり

H・A (肢体)

秋の日に ひとときわ目立つ 山茶花のはな

H・A (肢体)

病癒え 久々に友と会い 我がことのように嬉しい

H・A (肢体)

要介護 農園仕事 楽しいね

秋山 章 (肢体)

実り秋 ふるさと畑 収穫時

秋山 章 (肢体)

百日草 一輪残し 秋がゆく

一宮 照子 (肢体)

ふるさとの 笑顔優しく 今日も行く

一宮 照子 (肢体)

ふるさとで 元氣もらい 足取り軽く 帰路につく

中込 ためよ (肢体)

佳作

かかとくん 動いてほしい 十分に

手塚一男 (肢体)

水のみに 母の後ゆく 子ザルくん
手塚 一男(肢体)

ふるさとへ 行く日は起きる 楽しみに
H・U (肢体)

朝寝して 昼は昼で 夜もまた寝る
H・U (肢体)

ふるさとの かぼらやのうまさ 食べに来た
K・O (肢体)

手をつなぐ 笑顔のしえん ありがとう
渡辺 裕士(知的)

みなえがお あさの会から かえりの会
渡辺 裕士(知的)

歩きたい 夢と大地を 踏みしめて
井上 莞(身体)

干し柿や オシロイそつと 薄化粧
水越 一成(身体)

リハビリを 継続すると 増す笑顔
水越 一成(身体)

カラオケは 曲選びが 楽しいな
松崎 順子(身体・知的)

山々の 見晴らしがいいよ 山梨は
松崎 順子(身体・知的)

リハビリを 汗をかきかき 頑張るぞ
松崎 順子(身体・知的)

木枯らしに 枝で踏ん張る 落ち葉かな
ルージエバック(身体)

胃薬を 飲みすぎるより 大根さ
ルージエバック(身体)

鍛えてる 背筋 腹筋 笑顔金
ルージエバック(身体)

七五三 知人の娘 お姫様
リヨーマ(身体)

火の用心 落ち葉でたき火 懐かしい
リヨーマ(身体)

かわいいね 孫らの声に 有頂天
榊原 佳美子(視覚)

大笑い 病ヤマイの魔の手 撃退す

榊原 佳美子（視覚）

想像力 ハンデの有無に 差など無く

榊原 佳美子（視覚）

リクエスト 曲が流れて ふるえてる

清水 明則（肢体・精神）

イタズラに いじめイジワル 嫌がらせ いたわりなくば いやされめやも

横山 治之（気分障害）

審査員より講評

自然体が良い
竹内冬眠

第一回の試みとしては、両分野とも良質の作品に恵まれたといつて良いのではないか。その意味では、後の2回以降も、詩は書き馴れた人が多く、川柳は多川の柳の意匠、おまかに言つたまま、心のままに作られた作品は、たが感じの強い。どちらの分野の応募者も肩肘張らずに自然体であるの好

入選1位
|| 評 ||

「しがらみの自在の揺れに道あらずい、有泉政弘の姿勢はまいで川柳のジャンルの道あらずい、心の揺れに厳しい選択を示している。」

入選2位
|| 評 ||

「杖の音、一歩下りて道譲る。」佐野薫
「中七がぎこちない。いつそ杖の音、道をゆずりて空は晴れ。」と素直にうたい流して、下五を考へては？
掲出の下五は選者の勝手な思い。

入選3位
|| 評 ||

「道端の枯葉で止まる車いす止め、和久の優しい枯葉のかすかな囁きに車いすを止めた作者の優しい心根」

入選4位
|| 評 ||

「白杖よ、花と作句の八十路坂、井口貞子
「や、人為、人工を感じてしまふ。」良く言えば出来過ぎ。

入選5位
|| 評 ||

「手をつなぎ、坂を越え、坂を重ねている。
「下五の「坂」を越え、坂を重ねている。

佳作1
佳作2
佳作3
佳作4
佳作5

「車椅子の道のデコボコ、すべり、知る、片平徳男
「かかともく、お腹が減る、歌も、分る、手塚一男
「自閉でも、お腹が減る、歌も、分る、手塚一男
「寒く、さり、は、家を出る、歌も、分る、手塚一男
「やさし、は、誰も、つて、あ、ただ、か、み、恵風